

いきもの大ずかん！

南小国町立中原小学校 1・2年生

1 しらべようと思ったわけ

生かつのじゅぎょうでいきものを見つけると、たくさんのいきものが見つかった。そこで、いきものがどこにすんでいるのか、どんなとくちょうがあるのかしらべてみようと思った。また、生きものずかんをつくって、来年の1・2年生のやくに立つように図書室におきたいと考えた。

2 しらべる方ほう

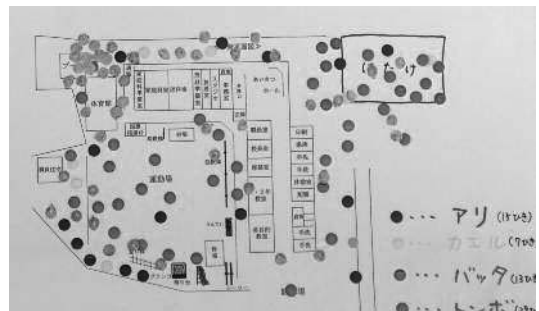
(1) 学校のちかくでいきものを見つけて、見つけたばしょにシールをはる。時間をかえて、いきものがどこにいるのかしらべる。(しらべる時間は、午前9時、午後0時、午後2時)

また、どんなところに、いきものがいるのかしらべたり、考えたりする。

(2) アリ、バッタ、トンボ、クモ、カエルのしゅるいをつかまえてかんさつをする。かんさつは、色や形、すんでいるばしょ、気づいたことをかく。名前は、図書館のずかんやインターネットでしらべる。

3 しらべたけっか

(1) トンボは、あつまっていなくて、いろいろなところにいる。トンボは、さむいところにはいない。クモは、すずしいところにいる、あつぱしょにはいない。バッタは、草がたくさんあるところにいる、草がないところにはいない。カエルは、はしのほう



にいる。カエルは、夏にくらべるとすくない。アリは、しゅうだんでくらすアリと、しゅうだんでくらさないアリがいる。アリは、すをつくれる土があるばしょにおおくいる。

(2) 体のまん中がほそいのは、クロオオアリ、口が赤いのは、トビイロケアリ、はが、ちゃ色なのはクロヤマアリ、おしりの色が、ちゃ色と黒がまざった色のアリは、アミメアリだった。ジョロウグモは、色があかるい色で、おしりが黄色や赤い色をしている。ジグモは、ふくろの中にすんでいて、こげちゃ色をしている。ザトウムシは体が丸くて、足がほそく長い。コモリグモは、足がしまもようになっている。ショウリョウバッタの体は、とがっているところが多い。イナゴの足には、きゅうばんがある。アオマツムシは、体に黄色い線があった。ニホンアマガエルは、目のまわりに黒い線があつて、シュレーゲルアオガエルには、黒い線がない。アキアカネはよくとんでいて、しっぽは赤色、羽の先に黒い点があつた。よくにているナツアカネは、口が赤色をしている。ウスバキトンボは、しっぽの上が金色で、下が水色だった。

4 まとめ

学校のまわりには、たくさんのいきものがいた。いつもは、よく見ていないいきものをくわしく見ると色や形にちがいがあつた。クモにはたくさんのしゅるいがあるのでクモはかせになりたいと思った。

生きものは、エサやかくれるばしょを見つけている。生きものをさがす時は、エサやかくれるばしょを考えてさがすと、すぐ見つかる。見つけるのがたいへんだった生きものは、めずらしいので、大切にしていくと、こんどしらべる時は、数がふえているとおもった。